

授業構想シート(改)

第 学年 第〇回道徳

令和 年 月 日() 時間目

1 主題

デジタル機器の効果的な使い方

内容項目

A1 自主、自律、自由と責任

各教科等との関連/内容項目間の関連
・デジタル・シティズンシップの学習テーマ
【対人関係とコミュニケーション】
・技術・家庭科(技術分野)

2 主題設定の理由

道徳的価値観

「自主、自律、自由と責任」の内容項目は、学習指導要領で「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと」と示されている。「自律の精神を重んじ」とは、ほかからの制御や命令を待つことなく、自分の内に自ら規律を作り、それにしたがって行動しようとする気持ちを大切にすることである。「自主的に考え、判断」とは、他人の保護や干渉にとらわれずに、善悪に関わる物事などについて幾つかの選択肢の中から自分で最終的に決めることである。

どのような小さな行為でも、自分で考え、自分の意志で決定したものであるとの自覚に至れば、人間はその行為に対して責任をもつようになる。そこに、道徳的自覚に支えられた自律的な生き方が生まれ、自らの責任によって生きる自信が育ち、一個の人間としての誇りがもてるようになるのである。

生徒観

中学校ではまず、自己の気高さに気付かせ、何が正しく、何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動をとれるようにすることが大切である。そのため、日常のどのような小さな行為においても、自ら考え、判断し、自分の自由な意志に基づいて決定し、それに対して責任をもたなければならないことを実感させる必要がある。

教材観

教材名：オリジナル教材

デジタル機器の効果的な使い方を考えることを通して、デジタル機器の活用の注意点を考えることで、自分がデジタル機器のどのような使い手になりたいかを考え、自律した活用者となることにつなげることができる。

【評価の視点】

視点1：一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか

- ①道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ②自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ③複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を広い視野から多面的・多角的に考えようとしている

視点2：道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか

- ④読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ⑤現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している
- ⑥道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
- ⑦道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

人間としての生き方について考えを深めているかどうか

3 本時のねらい

デジタル機器の効果的な使い方を考えることを通して自律した活用者としての

判断力 ・ 心情 ・ **実践意欲と態度** を養う。

4 本時の学習指導過程 緑字：デジタル・シティズンシップの観点

	学習活動・主な発問	評価とフィードバック 留意事項
導入 5	<p>1. 自分のデジタル機器との付き合い方を振り返る。 「長期休暇の間スマートフォン等はどんな使い方をしていた？」 自由に発言するよう促す、「使いすぎ」と指摘されたか問う。 *スマートフォン等利用について生徒の実態を確認する。 →生徒と保護者の思いにずれがある可能性に気付くようにする。</p>	<p>良くない使い方に焦点を当てるのではなく、よりよく使うために、という視点で授業を進める。</p>
展開 1 1 5	<p>2. 質問紙調査の結果から生徒と保護者の考え方のズレに気付く。 自律 「デジタル機器について①～③について自分はどうか捉えているか、できるだけ具体的に書てみよう」 ①「使いすぎ」とは？ ②「夜遅くまで」とは？ ③「不適切」とは？ → 1人1台端末で考えを集約、共有</p> <p>3. 保護者の方の願いや思いを確認する。 *質問紙調査の結果から具体的な保護者の思いを取り上げ伝える。</p>	<p>①～③の意見を把握したうえで、このような状態にならないように利用することの大切さを確認する。デジタル機器を活用することで、自分の見識が広がることや社会の課題解決につなげてほしい、という願いに触れる。</p>
展開 2 4 0	<p>4. デジタル機器の効果的な使い方を考える。 活用 「『私のデジタル機器活用術』を考えよう」 ①テーマに応じたデジタル機器の効果的な活用方法を考える。 *例を紹介し、イメージが湧くようにする。 *利用経験が少ない生徒は他の人のアイデアを参考に考える。 → 考えたアイデアは1人1台端末で集約、共有</p> <p>②「ワクワクのプロセス」を提示し、効果的に使うために気を付けることを、具体的に考える。 → 気を付けることを追記し、再度集約、共有</p> <p>行動規範 「ワクワクのプロセス」を確認する</p>	<p>評価の視点②【記述・発言】</p> <p>いくつかのアイデアを取り上げ、どのような思いからそのアイデアを思いついたのかや、そのことについて他の人はどう感じるか、など考えを深めたり、広げたりできるようにやりとりする。</p>
終末 5 0	<p>5. 本時の振り返りを記述する。 デジタル機器の活用方法について自分の考えの変化を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目指す学びの姿と認められる振り返りの記述例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の楽しみだけのために使っていたけど、友達の考えを聞いて、自分の知識を広げられるような使い方ができるといいなと思った ・自分のためだけでなく、家族とか、学校とかに役立つような使い方ができるようになりたいと思った。 ・デジタル機器を使って、困りごとを解決するという発想は自分にはなかったから、意識してみたい </div>	<p>評価の視点⑤【記述】</p> <p>本時の学習は、デジタル機器の利用を強制するものではないことに注意する。デジタル社会と積極的に関わっていくうえで、自分で判断し、責任ある行動ができるよう自己決定することを大切にできるようにする。</p>

Q1 長期休暇の間、スマートフォン等はどのような使い方をしていましたか？

Q2 デジタル機器について、次の①～③を自分はどうか捉えているか具体的に書いてみましょう。

自分の考え	他の人の考え
① 「使いすぎ」の状態とは？	① 「使いすぎ」の状態とは？
② 「夜遅くまで使う」は何時ごろ？	② 「夜遅くまで使う」は何時ごろ？
③ 「不適切な使い方」とは？	③ 「不適切な使い方」とは？

Q3 テーマに応じた「私のデジタル機器活用術」考えましょう。

手順 ①テーマを決める ②具体的な使い方を考える 例：アプリ名や場面など

③効果的に使うために気を付けることを考える

POINT 「その使い方いいね」って感じてもらえる使い方を考えましょう

テーマ 1. 勉強 2. 部活動・ クラブ活動 3. 趣味 4. 家族 5. 健康	➡	<p style="text-align: center;">私の「デジタル機器活用術」</p> テーマ： _____ 具体的な使い方 効果的に使うために気を付けること
---	---	---

Q4 デジタル機器の効果的な使い方について、この時間に考えたことを書きましょう。
